



坂下しげき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

旅券発行、市役所や町村役場で 坂下県議の要望実る

30年度までに順次、 権限移譲

市川市選出の坂下茂樹県議(2期)は主要な政策の一つに市役所、町村役場での旅券(パスポート)交付実現を掲げ、政治活動を続けてきました。県などへの長年の要望が実り、いよいよ、来年度から市町村に交付事務の移譲が行われることになりました。県は来年度から準備可能な自治体へ順次、旅券交付事務の移譲を進め、平成30年度まで3力年かけて県内全市町村への権限移譲を実現することとしています。「旅券の交付を住民に身近な役所の窓口で」と、市川市議会議員時代から市町村への交付権限移譲の実現を目指してきた坂下県議は、「旅券交付が役所でもできるようにになれば、海外旅行を計画している市民にとってたいへん便利」と話しています。

国から委託を受けて、旅券の交付事務を行っている県は来年度、すべての市町村へ旅券交付権限の一斉移譲を予定していました。ところが、市町村がマイナンバー事務で多忙になり、来年度中の実施が不可能と答えた市町村が少数だったため当初の方針を変更し、来年度から3年間をかけて段階的に権限移譲を実現することになりました。



県議会で市町村への旅券発行権限移譲について質問する坂下茂樹県議

度実施が可能と回答したのは市川市など4自治体。これらの自治体などから権限移譲が進められることとなります。ちなみに29年度実施希望は4自治体、30年度実施希望が35自治体で、11自治体が未定あるいは実施困難と回答しました。現在、旅券(パスポート)政府ないしそれに相当する公的機関が交付し、国外に渡航する者に国籍及びその他、身分に関する事項に証明を与え、外国官憲に保護を依頼する公文書。国家が発行する公的書類として最も通用する身分証明書として利用されます。

港(ポート)や都市城壁の門(ポルト)を通過(パス)するために要求された中世の文章が起源と言われています。

住民の利便、大きく向上

地元の役所や役場で旅券の申請ができるようになれば、交通費や旅券事務所まで出かける時間を節約でき、労苦も軽減されることとなります。また、旅券申請には戸籍謄本と住民票の写しが必要ですが、地元の本籍がある市民は戸籍謄本など

県民が旅券を新規に取得、あるいは更新する場合、千葉市中央区と松戸市内の2つの旅券事務所や県内8カ所の県地域振興事務所に向いて交付を申請し、さらに出来上がった旅券を受け取りに行く必要があります。船橋市にある葛南地域振興事務所では出来上がった旅券の受け取りのみで、交付を申請しようとする市川市民は交通費をかけて千葉市か松戸市の旅券事務所まで出かける必要がありました。加えて、週明けの月曜日や週末の金曜日、さらに多くの

坂下しげき PROFILE

■経歴■

- 昭和49年11月 市川市生まれ
- 昭和62年3月 市立曾谷小学校卒業
- 平成2年3月 市立第一中学校卒業
- 平成5年3月 船橋法典高校卒業
- 平成9年3月 日本文化大学卒業
- 金子和夫県議秘書
- 平成15年4月 市川市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成23年4月 県議会議員初当選

■現職■

- 県議会 文教常任委員会副委員長

●県政や地元市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき 県議事務所

〒272-0022 市川市鬼越2-5-8 旧金子和夫事務所
TEL.047-318-0055 FAX.047-318-0500

議下県

市川市議会、県議会で 一貫して権限移譲要望

「都道府県は、都道府県知事の権限に属する事務の一部を、市町村が処理することとすることができるとした平成11年の地方分権一括法の公布・施行、さらに平成18年に交付・施行された旅券法の一部を改正する法律により、旅券事務を市町村へ権限移譲することが可能になりました。これに基づいて坂下県議は市役所や町村役場での旅券交付実現へ取り組んできました。市川市議時代、市町村への旅券発行事務移譲についてたびたび市執行部に質問、さらに、県議会に歩みを進めてからも、一般質問や予算委員会、旅券発行事務の市町村への権限移譲を県執行部に質問し、要望してきました。市町村への旅券発行事務権限移譲に関する市川市議会および県議会で、の坂下県議の質問と答弁を振り返ります。

旅券発行権限、市町村に移譲を 平成25年県議会予算委員会

坂下委員 旅券事務を市町村に権限移譲する場合の課題は何か。
国際課長 旅券事務を市町村に移譲するに当たって

申請書類やパスポートの保管などに係るセキュリティ体制の確立などが考えられています。

旅券事務の移譲は県民目線で

の課題と致しましては、県内各市町村の権限移譲に関する意向、権限移譲に伴い、県と市の窓口が混在する場合、県全体のサービスレベルの維持とコストの問題、



千葉市の中央旅券事務所

坂下委員 過去の本会議、常任委員会、予算委員会等で尋ねた旅券事務の市町村への移譲について、その進捗状況はどうか。
副知事 本年3月に開催された市町村への説明会で、各市町村からは「均質なサービスレベルを維持した受付窓口の再生整備」必要な財源の確保」など、さらに検討すべき事項についての回答があり、現在、その内容を取りまとめ、精査を進め

全ての市町村との合意を目指す 平成26年12月県議会一般質問

坂下委員 旅券発行事務の移譲を希望する市については、個別に行っていくという考え方もあると思う。旅券事務を市町村に移譲する取り組みについて、現在の進捗状況はどうか。
総合企画部長 現時点では、早期の移譲を望んでいる市町村がある一方、窓口スペース、人員、財源の確保など、検討すべき課題があると回答している市町村もありました。県といたしましては、全

数のほとんどを国が持つていってしまう。分納割合は是正について、国に強く見直しを求めて欲しい。

旅券発行事務、来年度中に移譲

坂下委員 旅券事務所つまりパスポートの申請・交付窓口について、以前から本会議等で何回も質問しているが、市川市には交付窓口が無いことから、市民が不便を感じており、旅券事務の市への移譲が期待されている。
坂下委員 旅券事務所から、県では、各市町村に事務が移譲できるよう、各団体に丁寧な説明をするとともに、意向調査を実施してまいりました。

その上で、本年3月には原則として、平成28年度中に移譲を行うものとする基本方針案を示し、県・市町村間の役割分担や費用負担等について具体的な考え方を説明したところです。

葛南旅券事務所、多額の運営費

坂下委員 パスポートについて、市川市民の利用は年間延べ2万人以上になる。しかし、市川市民は千葉市か松戸市に行かなければ申請できない。
旅券事務所は、平成18年に旅券法の一部改正され、市町村単独で発行できるようになった。私が千葉県に問い合わせたところ、松戸市にある葛南旅券事務所は年間約8千万円で運営しているということだった。この費用の3分の1は、事務所用地の賃借料であることも分かった。

は、非常に要望の高いものなので、引き続き取り組んでいただきたい。

県、市町村での旅券発行を検討

坂下委員 市川市民の利便性を上げるため、利用頻度の高い施設、例えば旅券事務所などを市内に設置することや、体の不自由な方も利用される健康福祉センターや児童相談所、法務局、税務署、年金事務所などを市内の有効な場所に設置できないのか。
市川市企画部長 他県の一部で実行されており、旅券事務所の市町村への再委託につきまして、現在、県の中で検討をしている。こういった回答をいただいているところでありま

また、現状では旅券の受け取りのみが行える葛南県民センターにおいても申請から交付までの一連のサービスが行えるようにという業務の拡充を市川、船橋、浦安の3市で構成しており、千葉県政連絡協議会から千葉県に要望をしたところでありま

坂下委員 旅券事務の市町村への移譲については、各市町村の意見を取り入れた上で、県民目線で進めていただきたい。
ただし、この権限移譲にあたって、支障になっている

坂下委員 旅券事務の市町村への移譲に向けた取り組みについて、現在の進捗状況をうかがう。
総合企画部長 旅券事務については、身近な窓口である市町村で行うことが、県民の利便性に資すること

また、現状では旅券の受け取りのみが行える葛南県民センターにおいても申請から交付までの一連のサービスが行えるようにという業務の拡充を市川、船橋、浦安の3市で構成しており、千葉県政連絡協議会から千葉県に要望をしたところでありま

旅券事務所の市町村への再委託につきましては、現在、県の中で検討をしている。こういった回答をいただいているところでありま

旅券事務所の市町村への再委託につきましては、現在、県の中で検討をしている。こういった回答をいただいているところでありま